

議会報告会の開催結果について

1 概要

- 開催日時 令和6年11月6日(水)、7日(木)、8日(金)、11日(月)
午後6時30分から午後8時(全会場共通)
- 班分け 1班 ◎松本尚美、山崎高広、関口正峰、中島勝司、高橋秀正、工藤小百合、落合久三
2班 ◎白石雅一、佐々木真琴、古舘博、今村正、小島直也、長門孝則、田中尚
3班 ◎西村昭二、畠山智章、佐藤和美、木村誠、鳥居晋、伊藤清、竹花邦彦

参加人数

期 日	班	会 場	参加者
11/6 (水)	1	千徳公民館	9人
	2	田老三王地区自治会研修センター	8人
	3	川井生涯学習センター	8人
11/7 (木)	1	崎山公民館	7人
	2	津軽石公民館	22人
	3	鍬ヶ崎公民館	10人
11/8 (金)	1	川内地域振興センター	4人
	2	新里生涯学習センター玄翁館	10人
	3	重茂 里地区コミュニティ番屋	12人
11/11 (月)	1	花輪・農村文化伝承館	8人
	2	うみマチひろば	6人
	3	市民交流センター1階会議室	16人
合 計			120人

2 市民との意見交換の内容

(1) 特に重要なもので市長へ要望するもの(議長名で市長あてに送付。回答を求める)

会場	項目	内容(詳細・理由等)
津軽石 公民館	津軽石地区の避難所整備について	日本海溝千島海溝地震の想定では津軽石小中学校とも浸水域になっている。地区住民の避難が公民館に集中すれば避難所としても無理がある。また有事の際は田老まで避難させるといふが、寝たきりや車椅子などで介助が必要な方もいる。さらには津波被害だけではなく大雨洪水災害の視点からも地域に安全な避難所が必要だ。 浸水域にある築50年以上の小中学校の建て替えの検討をするのであれば、高台に移転することも考えるべきではないか。 安心安全に避難できる場所が地域にあることで、地域活性化にも繋がると思う。
	藤畑集会所への補助金について	藤畑の公民館が被災して、代わりに空き家を借りて集会所にしている。電気料も賃貸料も払っているが、賃貸のため補助金が出ないと言われた。水道光熱費に対する補助がもらえるようにしてほしい。

(2) 市政への意見・要望(市長の回答を求めるものではないが、市と共有し問題提起するもの。議会 HP でも公開)

会場	市民からの質問・意見等
千徳 公民館	千徳地区の街路樹について、花や葉が落ちて掃除が大変。すべて伐採しろではないが、間引くなど何か対応してもらえないか。
	千徳町に公園が欲しい。公園がないため道路で遊んでいる。三陸沿岸道路下の空き地(資材置き場)を公園にできないか。
三王地区 自治会 研修 センター	宮古市の基金はいくらのこっているのか。宮古市は経済的に大変な状況にあると思っている。財政当局は40億切りたくないといつも言っている。だが、今の宮古は本当に危機的状況だと思うのであれば40億切ってもいいと思う。子供を産み育てるには、制度はあるが、働く場がないので帰ってこないと考えている。経済落ち込んでいるので帰ってこない、残れないという状況だと考えている。経済的な支援策を実施してはどうか。
	災害公営住宅は40世帯のうち入居が30世帯。家賃が高いため入らないようだが、空室にしておくのはもったいないので、安くして入居してもらってはどうか。
	結婚したらお金を出すという施策があってもいいのでは。「100万円出します」などと実施してもいいのではないかと。女性への支援を丁寧に構築していくことが必要ではないかと考える。
	過疎地域の訪問介護について、僻地の一人暮らしがいるが、どう面倒見ていくのか。高校生を育てることももちろん大事だが、介護という分野も切実な課題であると考え。介護保険が絡むので考え方が非常に難しい。社協としてやっていくのが難しいという声が聞こえてきている。補助金もらったりできないかなとも考えている。高齢者の終末を看るのも今後はより注視してほしい。その家での介護がどういう状況なのかもっと実態による理解が必要。非常に大切な問題だと思うので、考えていただきたい。職種によって賃金の引き上げも変わってくる。事務員は上がらない、運転員は上がらないということもある。施設内での理解難しい。保健福祉部動けというように声もかけてほしい。
	介護の問題は家で抱えているものが多い。介護度が高ければ利用できるものもあるが、介護度が低くて利用できないなど、見えない部分、制度から外れている部分が多い。そういうサポートを希望する。 また、介護関連の新しい仕事を立ち上げる際のサポートをしてほしい。独居老人、老老介護の課題意識がすごくある。
	介護事業所に関しては、指定管理費は変わらないが、物件費維持費、人件費が上がって足りなくなる現状がある。
	川井の診療所のベッドがなくなったのは間違った判断だと感じている。実態は介護の入所待ちとかの使用用途もあった。
	若者が魅力ある町にしていきたい。こういうところに集まるのはこういう高齢者だけ。小学生でもたくさんいろんなことを考えている。高校生だけではなく、もっと小さい子たちから教育していくのがいいのではと思う。タウンミーティングのポスターも小中学校にもしっかり配って掲載していくのがいいのではないかと。自分ごととして小さい子たちも参画してもらったほうがいい。若者がいなくなっていることは本当に死活問題である。幅広い層に対等な立場で意見交換できるまちにしていきたい。

会場	市民からの質問・意見等
川井 生涯学習 センター	川井バス停（総合事務所前）の周囲に草木が繁茂している。草刈りをしてほしい。 【議会報告会後の班の対応】 川井総合事務所長に伝えた。その後、草刈りが実施されたとのこと。
	10月10日、川井地区の閉伊川漁協役員に対し、小国・中仁沢地区に小水力発電を計画している企業の説明会があった。当該地区には絶滅危惧種のサンショウウオやホタルが生息している。自然破壊、生態系に影響を与えるような開発は避けるべきで反対したいと考えている。 【議会報告会後の班の対応】 エネルギー推進課長に、中仁沢地区の小水力発電計画について確認したところ、計画は承知しておらず、閉伊川漁協に連絡し確認するとのことであった。また、事業実施にあたっては、宮古市再生可能エネルギー推進条例の定めにより、事業計画を市に届出ることになり事前チェックができること、地域住民への説明、理解を得なければならないことから、地域住民の合意が必要となるとのことであった。
	シカが住宅地に入ってくないように対応して欲しい。
	山田線を利用しているが、運休も度々起きている。運休や代替え輸送、運行時間の変更等の情報を含め、市民に伝わるようしっかり対応して欲しい。
	山田線は赤字運行となっている。市民利用が少ない山田線に税金を使うことには反対。
	鉄道、バスだけでなくタクシーも公共交通であり支援が必要ではないか。
	ジビエ加工施設について、維持管理が課題で赤字にならないか懸念する。
	旧106号線の交通量が少なくなり、道端でおしっこをする人が増え、地域住民が困っている。対応をお願いしたい。（場所は区界地区で、宮古・盛岡横断道路から区界・道の駅方面に入る入口付近）
	106号から松草沢に入る市道で、大雨で道路が決壊し通行止めになっている箇所がある。市に復旧を要望したが「住んでいる人がいない」という理由でそのままになっている。今は空き家だが、民家は存在しているので復旧するよう対応を要望したい。 【議会報告会後の班の対応】 川井総合事務所及び建設課に確認したところ、災害査定を受け、12月補正予算で復旧予算を計上するとのこと。
崎山 公民館	補欠選挙について、PRが足りない。 結果についてもっと早く詳細が欲しい。（地区別データ等）
	震災から13年経過しましたが、その当時、住宅の被災の度合いで支援の対象（支援物資）を決めたのは、不公平である。
	三鉄の代替バスのダイヤが不便。
	黒田町公衆トイレが汚い、改修が必要。 また、黒田町公衆トイレから、うみどり公園までトイレが無いので整備してほしい。

会場	市民からの質問・意見等
崎山 公民館	崎山地区の道路について要望。 崎山中学校への道路は一路線しかなく、災害時の対応等に問題がある。過去にも要望はしている。 【議会報告会後の班の対応】 建設課長に確認し、今時点の見込みでは総合計画に反映して令和 10 年度に設計着手、令和 11 年度着工し令和 13 年度完成を予定しているとのこと。
	老木グラウンドのトイレを整備してほしい。試合がある時には足りない。
津軽石 公民館	宮古は水産の街、観光の街とうたっているが、気候変動もともなっていて、市場に魚が上がっていないと感じている。津軽石も昨年の鮭は年間で 2,500 弱だった。いつまでも気候変動を言い訳に黙っているのは良くない。水産の街がどうなるのか気になる。観光だと言っても魚が揚がらないから魚菜市场も寂しい。黙って待っているだけでなくしっかり準備して欲しい。
	防災会やっている。避難所の話。津軽石小学校は本校舎の西側まで土砂災害の危険がある。実際、どこに避難したらいいのか。避難訓練は田老まできてくれとあるが、寝たきりの人もいるだろうから、しっかり調査して欲しい。その前に避難所。運転できない人もいる。実態にあった避難計画を作って欲しい。小学校も新しくして避難所も作って欲しい。いろんな年齢が使えて、地域が活性化するような場にして欲しい。ハザードマップでみると津軽石は 95%が水をかぶる予定だと思う。真剣に市の方で考えてもらいたい。津波を乗り越えて安全な町であると証明したい。要望を防災会でしたが、それっきりで何も話が出てきていない。立派な先生がいっぱいいるので明るい避難所を作って欲しい。
	災害時要支援者について、災害時知らない人を助ける、手伝うにはどこの誰かわからないとできないのでは。寝たきりの人もいるだろうから、近所に顔を出さない人に関しては、しっかり調査して欲しい。
	災害時要支援者名簿について、要支援者の申請にいけない人はどうしたらいいのか。そこまで考えているのか。
	自分も防災士だが、実際津波となれば、家族を連れて逃げるだけでいっぱい。大方の人は防災士でも当事者のところに行けない。班体制でやってもらうのが一番いいが、あまりうまくいっていないようだ。現状は寂しいもので人が集まらない。その辺の教育を市をあげてやって欲しい。
	避難所について、田老までいくのは無理だと思う。やっぱり津軽石の人が避難できる場がないといけないと個人的には考える。どういう認識が市や議会にはあるのか？250 名が津軽石小学校であふれたと聞いている。屋根があってトイレがあるところではないと避難所は機能しないと思う。小学校が危険地域にあって、中学校も津波が来るととても危ない。小学校、公民館も無理がある。高いところに小中を統合するのがいいのではないかなと思うが、どう認識しているのか。
	館ヶ下という部落。危険区域になっている。根井沢川が溢れると、この部落は全滅。気候変動で山津波もある。避難場所はどこなのか。小学校が避難所、公民館もある、学校の建て替えに合わせて避難所を作ってはどうか。この公民館も危険だ。過去に孤立状態になった時もある。

会場	市民からの質問・意見等
津軽石 公民館	当該地域には生活水路が昔あった。昔、蓋をしてもらったが一部のみで、残りは市にお願いして、U字溝ができると聞いていたが、他の地域が優先してこちらは遅れると聞いた。困っているので早く設置して欲しい。
	今回は選挙が多くてわかりにくかった。誰が立候補しているのかわからない。その辺も考えてやって欲しい。
	山の木の伐採のために作った道路から流れてくる砂がたくさんあり、どこに溜まっているかもわからない。排水路の泥上げは年に2回やるが、全部上げてちゃんとやっているところはないだろう。たまには行政が動いて砂が流れてくる場所の泥を上げるようにして欲しい。また、作業道を埋めることができないのか？地肌を出さないで元に戻すことはできないのか。
鉾ヶ崎 公民館	清水川河口部のフラップゲートの機能は大丈夫か。蓋が閉まるたびに大きな音がするので、蓋を縛っているという話を聞いた。 【報告会後の班の対応】 建設課長を確認。 「当該フラップゲートは、整備時は固定していなかったため、潮の満ち引きで開閉を繰り返しフランジ部が疲労で破損した。また、ゲートが閉まる際の騒音が、上流部の梅翁寺周辺に響く状況があった。ゲートの修繕は水中作業となるため高額の修繕費を要し、頻繁に破損することがないようにフランジ部の強化と騒音防止対策を検討したが、常時開閉では良い方法は見当たらなかった。このため、平時は固定構造にし、高潮や津波の際には留め具が外れゲートが閉まる構造としている。地元消防団にも構造について説明済みである。」との回答を受けた。
	先日、救急車を呼んだが、なかなか来なかった。家を間違えて探し、時間がかかったとのことだ。システムの的に家を間違えるようなことがあり得るのか。しっかり対応して欲しい。
	浄土ヶ浜の臼木山の草刈り等の管理どこか。草刈り等、管理が不十分では。
	臼杵山の管理について、表から見えない裏側は手がついていない。倒木も多い。遊歩道のロープ切れ等、危険箇所もある。市に連絡したら、窓口が違うなどと言われ、たらいまわしにされた。市民は市なのか県なのか、市の担当課はどこかわからない。窓口を一本化すべきだ。
	防潮堤沿いの防草シートが途中で切れている。県が管理しているのか。バス停が見えないくらい草が生えている。
	今年の夏に、鉾ヶ崎小裏（熊野町）で3件の住宅が焼ける火災が発生した。付近の山の木も焼けて、危ないので伐採をお願いしたが「学校林」と言われた。学校林とは何なのか。また市で伐採の対応ができないか。
	鉾ヶ崎公民館は避難所に指定されているが、以前に川（清水川）が氾濫し避難所が危なくなったことがある。避難場所として適当な場所なのか疑問に思う。検討して欲しい。
	ここは宮古二中が避難所となっているが、高齢者は避難できない。近場に避難所が欲しい。
	津波避難では浄土ヶ浜駐車場に避難するよりは、日立浜（なやの沢）から浄土ヶ浜第3駐車場に抜ける道路の方が早い。避難路の標識看板を設置して欲しい。

会場	市民からの質問・意見等
川内 地域振興 センター	明戸橋から八幡橋間の支障木伐採と河道掘削をしてほしい。山が崩れて川が浅くなっている。
	国道106号に待避所がない。 やまびこ館までトイレがない。 ゆずり車線を作ったほうが良い。 てんぐの里の様な物は出来ないか。
	人口が減り空き家が増えている。 教員住宅が空いているので若い人に貸してもらえないか。
	106号バスについて、バス停を素通りせず、バス停がある場所は止まってほしい。106バスに対して市の補助金が出ているか。
	この辺に働く場がほしい。若い人がいないので高齢者でも仕事できる人を雇用して、徐々に若い人にも来てもらえるようになればよいと思う。
新里 生涯学習 センター 玄翁館	地域創造基金について、今年で補助金が終わると話題になった。担い手がいらない。和井内のイベントは地域で企画して進めており70代以上の人が頑張っているが、婦人部は若い女性がいなくて大変で、今年で一区切りだと話した。一概に切る切らないではなく、今後の地域の実情を把握した上でやって欲しい。予算つけたが地域はやりたくないなどもあるからしっかり検討してほしい。
	中学校の部活動の配置。職員の負担であることも聞いている。指導できない先生も多く、指導する側も生徒もかわいそう。予算をつけてマッチングした三人はどうやって人選したのか、マッチングの仕方をもう少し手広くやっていかないと厳しいのではないかな。
	宮古市は企業誘致に消極的なイメージがある。これはやる気の問題だと考える。市長がリーダーであるので考えが変わらないといけないと思う。人口が減っていくのも、女性が流出していくのも、この企業誘致が進んでいないからだと感じている。誘致した後に市民との接触がない気がする。見えてこない。企業に丸投げで、行政の熱意がないように思う。タウンミーティングに参加しても、できない条件を全面に出してくるので、この市長のままでは無理だなと感じている。議会がいくら考えてもトップが変わらない限り無理だと思っている。
	キャトルの解体ももっと早くやるべき、中心市街地に廃ビルがあるのはマイナスイメージ。政治の力をもっと使えばいいのでは？それは市職員にはできないのだから。市長が頑張るべき。鈴木財務大臣の時にもっと提言したらいいだろう。全てはやる気のなさだと感じている。
	除雪に関し一番心配なのはスクールバスの運行の時間に間に合わないこと。こちらでも総合事務所に働きかけている。川井にも声かけているというのが総合事務所の回答だった。
	腹帯の避難所の件。2箇所あるがどちらも市の職員は来ず、分団で対応しているが人が足りない。2箇所は厳しい。1箇所は水害が危険があり、もう1箇所は2階が避難所なので高齢者は難しいなと思っている。

会場	市民からの質問・意見等
新里 生涯学習 センター 玄翁館	介護の現場ではマンパワー不足で仕組みの構築改革が必須であり、現状では持続不可能。介護に限らず、過疎地域は採用もかなり大変で外国人の雇用もチャレンジしている。そうしなければ厳しい状況であると認識している。インドネシアとの連携で人材を確保しようという動きがあるようだが、企業との連携や情報交換をしながら積極的に進めて欲しい。介護事業者単独では厳しい。企業連携合併をしていくことも必要だと考える。市役所は数字だけで判断しがち、現場の実情と乖離している印象があり、懸念している。その辺を一生懸命検討していただきたい。
	訪問介護の件。要介護の家族をかかえているが、家族がスキルを持つことも大事だと思う。訪問で来てくれる介護職員を日々30分で見学し技術を習得し、なんとか頼らなくてもできるようになり、今は不安は無くなった。家族が介護技術を身につけることで、介護される人も、介護する人も安心につながる。家族への介護技術を身につけさせるための啓蒙活動や広報活動も併せて必要ではないか？人材不足の解消もそうだが、家族の理解も大事だと個人的には考える。
	人口減少により農業担い手が不足している。区界は昔は高冷地野菜があったが、今は作られていない状況。個人の力で農業を続けていくのは難しい。やる気があるその人はいいが、子や次につながらない。市としても農業に詳しい企業と連携して、耕作放棄地の地主との協議とか、産業化していったらどうか。そうすると若い人も定住するのでは。
重茂里 地区 コミュニティ 番屋	環境課で実施している省エネ推進補助金は二酸化炭素削減30%以上の削減などの規定があり、既存の空調機や給湯器を取り換えたくても利用できない。
	市では、脱炭素の取り組みを推進しているがブルーカーボンにも取り組むべきではないか。 洋野町では岩手銀行等と連携し3千トンのクレジットカーボンを行っている。1トン当たり7万円とも言われている。
	宮古市直営の水産研究施設をつくり、水産振興にもっと力を入れるべきだ。
	ナラ枯れのある場所を建設課に連絡し処理対応を求めたが、個人所有地なので伐採できないと言われた。市民相談室からは建設課がそう話しているのであればと言われた。道路に面しており危険木と認識できるのになぜ対応できないのか。現場の確認もないのは問題だと思う。
	姉吉キャンプ場は携帯電話が通じず、近年は外国人の来訪者も多く、ネット等を利用できないなどの不便さを感じている。携帯電話不感地域を解消して欲しい。
花輪・農 村文化伝 承館	補正予算に、エアコン設置支援事業があるが花輪伝承館も含まれるか。エアコンを設置してほしい。
	長沢川の氾濫について、木は伐採したが、河川浚渫はまだ。 水害対策をしっかりとってほしい。
	花輪伝承館にAEDを設置してほしい。
	自動車専用道路の田鎖墓目線が着工しているが、水害が心配。変電所は大丈夫か。自動車専用道路に非常時の出入り口が欲しい。

会場	市民からの質問・意見等
うみマチ ひろば	不登校の対策を聞きたい。不登校になると母親が負担が大きくて、仕事を続けられない状況がある。子供の選択肢と、女性の選択肢にも影響すると感じている。宮城県白石市には不登校の特例校、学校を跨いで不登校の子が通える場がある。白石市は宮古よりも人口が少ない市であるが、宮古市でも検討してほしい。 サーモン教室や民間のフリースクールがあると思っている。サーモン教室は通常の学校出席と同じ認定なのか。フリースクールについて市から補助があるのか？フリースクールはあくまでも私設なのでお金がかかる。経済的な負担がかかる。学校自体への市からの支援か、フリースクールにいく子供に対する支援が考えられる。現状の宮古市の不登校対策はどうなっているのか。
	マイナンバーカードを19%が持っていない状況があるということは、非常に不信感が大きい状況なのでは。任意性をしっかり担保するための動きを取って行ってほしい。任意であるという認識がみなさんにあるのであれば、資格確認書を継続していくように、任意というなら、しっかりそれを担保するための施策を作るように動いてほしい。 自身が持ちたくない理由は、再三にわたってマイナンバーとったかと確認される。また、普及に対する予算が2兆円かかったといわれている。それも最初から安心感があったらこの予算も使われなかったのだと思う。宮古市議会でもしっかり議論にあげて話し合ってほしい。
	不登校について、学校に無理やりいくのがいいとは思っていない。学校を跨いで不登校の子供が自習するような制度の導入などは検討されていないか？小学生の子供だちょっと置いて仕事に行くのは厳しい印象がある。少人数でみんなで面倒を見るシステムがあるといいなと思う。
	外国人労働者について、就労以外の困りごとはどう対応しているのか。就労している人が困っているのかそうでないのかもわからないのがよくないのでは。実態把握を早めにしていくのがいいのでは。漏れてしまう部分、就労の段取りはあるが暮らし生活の部分はどうなのか。人数が少ないうちに早く実態把握してほしい。
	技能実習生の生活面について、雇用者をはじめ地域で支えているという川井の話は非常に良いこと。一方で仕事関係のトラブルなどは、雇用者や地域住民には言いにくいだろうから、それらを含め行政がカバーすることが重要ではないか。両輪が必要だと思う。また、市内他地域で同様の取り組みができているとは限らないので、担当課は現状をしっかりと調べてほしい。
イースト ピアみや こ	羅針盤等にも多く掲載され、新聞、テレビの報道でも議員の政治倫理違反問題が話題になり、市外の友人からも宮古市の現状を疑問視する声が届いている。学校長は宮古市外からの赴任だと思うが、当市に赴任して良かったと思って欲しいと願っている。学校長に頑張って欲しいとエールを送る市民もいることを伝えて欲しい。
	宮古市の浸水対策についてどう対応しているのか。国でも国土強靱化計画で防災の取り組み、予算拡充を図っている。なぜ小山田地区は具体化が進まないのか。
	小山田地区の自動車教習所跡地は第1種専用住宅地域となっており、商業施設の活用ができない。用途地域を見直しても良いのではないか。磯鶏地区、上鼻地区でも工業専用地域から外した事例もある。 市役所庁舎の自転車置き場に放置自転車が多い。処理した方が良いのでは。

	小山田橋から船場（向町）までの堤防道路がデコボコになっている。
--	---------------------------------

(3) 市議会への意見・要望(ホームページに掲載)

会場	市民からの質疑・意見等	議員からの回答
千徳 公民館	議員定数が多いのではないかな。	定数は減らす方向で検討中。
	議員報酬が高いのではないかな。	議員年金制度も廃止になり、不安定な立場である議員に若い人がなりたがらない状況のため、報酬は増額する方向で検討中。
	議員報酬を上げるのはよいが、市が盛り上がるように働いてもらいたい。	
	ポスターも貼らないような候補者は制限できないかな。	被選挙権も考慮しなければならないため制限できない。
	議員定数は減らしたほうが良い。選挙の前に定数は減らせなかったのか。	任期中に定数を減らすことは出来ない。前回の選挙後すぐに、議員定数等特別委員会を設置した。
	公職選挙法は一般市民にはわかりづらい。	
崎山 公民館	マイナ保険証について、従来からの保険証も継続して使えるようにすべき。請願はもう一度審査できないかな。	市民の方々から請願があれば、再度審査する可能性はある。
	工藤議員の件をわかりやすく説明してください。	詳細を説明。
	50日以内の選挙期限は変えることが出来ないかな。	出来ません。
川内 地域振興 センター	今後「議員とかだっぺす MGT」はどうなるのか。他のテーマで実施する予定は。	議員定数と報酬の検討のため地域の皆さんとの意見交換の場として実施した。今のところはこのテーマのみ。
	議員定数、報酬についての議論の状況について聞きたい。	定数等調査特別委員会で3人減の意見でまとめた。報酬については協議中。
花輪・農 村文化	補欠選挙について、4名も欠員がでているのを知らなかった。	
	議員定数はどのようにになるのか。	定数等調査特別委員会で3人減の意見でまとめた。

伝承館

各種提言の準備期間はどのくらいか。

約1年。

会場	市民からの質疑・意見等	議員からの回答
三王地区 自治会研 修センタ ー	羅針盤の表紙の市民の声の部分、いつもよく読んでいる。「すみ良い街」 「若者が住みたくなる街」という声が多いと思う。住みやすい街といっても広義である。この意見をどのように集めているのか、どのように拾っているのか、そして、この表示で書いていただいた内容をどのように反映しているのか。表紙のためだけではないと思っている。どのように取り扱っているのか。	・市民の顔が見えることがいいことである。シンプルないいキーワードが参考になればと思っている。今後の取り組みとしては、この声をもっと生かしていきたい。反響をいただいているので、その辺りは継続していきたい。 ・若い議員が取材して一回で10人掲載するようにしている。この紙面を作るのに精一杯で、この声を届けるというところまでは議会全体で反映させられているかというところではない。 ・今後はこの意見をどのように反映していくか、市政に届けていくかを考えていきたい。
	羅針盤の13P、工藤議員のことが全文のっているようだが、見やすくはならないのか。高齢で字が小さくて、せっかく丁寧に書いてあるが全部読むのか難しいのが正直なところ。長く書いてあるが、中身はよくわからないという声が身の回りでは多い。もう少し見やすい体裁での掲載もいいのでは。	審査結果の措置に関連した部分の報告書の提出の中に、弁明書が提出されたときは、全文を公開しなくてはいけないという記載が条例にあり、それに則った形であった。概要を載せることもできたと思う。見やすくという意見もごもっともであると思う。
	議員定数や議員報酬については決まっているのか。	議員定数と報酬については特別委員会を作って話し合っている。市内も回って意見を聞いた。委員会の方向性では、定数は3減の19議席で話し合っている。報酬は協議中。
	定数減にしなければいけない考え方はどこから？個人的にはあまり賛成ではない。今騒がれているところもあり、減らしていいことは何か疑問。	加速度的な人口減少が一番大きな背景にある。現状4万7千人、住民あつての議会なので、住民の数に合わせて、住民の負担に合わせていくことが大事ではないか。
津軽石公 民館	一般質問、質問する議員、毎回の人もいる、全然名前が出てこない人もいる。これは会派で決めているからなのか。	会派内では内容が重複しないように調整はするが、基本的にはそれぞれの議員が一般質問ができるようにしている。一般質問しない人は単純にしていけないというだけ。

会場	市民からの質疑・意見等	議員からの回答
津軽石 公民館	報告 5、特別委員会の報告について。 議員とかだっぺすの会が開催され、自身も参加した。その後、結論や公表できるものは現状あるのか。	直近の部分では、1 週間ほど前に特別委員会を開催し、皆さんからの意見考え方、アンケートを踏まえ、議会としてどう考えるか議論した。今は定数に関しては、人口財政状況から鑑みて、次期改選期から減らす方向で進めている。現段階では 3～4 議席減らす方向で概ね合意である。問題は報酬。今は意見割れている。上げる方向は概ね合意。民間の給与水準も見ながら、金額感を模索している。政策アドバイザーの助言もいただきながら概ね 5 万円前後の増額で協議中。
	前に資料を見た際に、北上・一関より宮古の人口が減っているので定数削減は当然の事項であると思う。報酬については、一般予算の中に対して、何%まで使えるのかを確認した。めいいっぱい使って報酬を上げる、議員年金も廃止されたとも聞いた。魅力があるような議員報酬にならなければ、なり手がいないのでは。しっかり見合う予算をみなさんにはいただいて欲しい。今後も前向きに検討して欲しい。	議員年金は 10 年以上前になくなった。議員の報酬は地方交付税からも出ている。国に賄われている部分もある。一般予算の中での報酬の割合は決まっていない。
	前回は質問したが、アンケートの中では削減は半数以上が賛成。報酬については報酬上げるのに反対とみた。他自治体はどうなのか？年金や福利厚生がないこともびっくりした。そういう状況知らなかった。そこの PR も必要。市民が反対している理由の一つに知らないという状況がある。	1 番のポイントは若い人が議員になりたいと思うかという視点を持って考えている。理解のある発言、反対意見もしっかり向き合って理解してもらえるように話し合っていく。 減らすことによって過疎地域では声が届けられなくなってくるのではという懸念の声も聞いている。、逆に増やして欲しいという声もいただいたことがあった。5 万円の増額は実情見れば理解できるという話が多かった。

会場	市民からの質疑・意見等	議員からの回答
新里生涯学習センター 玄翁館	議会モニター最初から参加し5年やっている。議会モニターの意見を反映して傍聴も増えたり、ポスターも向上して非常に良い。	
	前回の意見交換会の時にもでた、空き家対策の件。前回は空き家対策で、取り壊ししなければならない危険な空き家は議員立会の元、巡回してもいいですか？というアンケートがあった。議員の賛否はあったが、今の進行状況とか補助金の状況を聞きたい。	条例の整備や補助金の拡充などを市へ要望した。要望した直後なので、まだ返答や進展はない。
うみマチひろば	モニターは任期一年だとあるが、いつ募集していて、任期は。	定員に満たない場合は随時募集している。2～3月に募集している。任期は年度が終わるまで。6月9月12月3月の定例会議をモニターしてもらうことになっている。
	議員定数の特別委員会について。いつも今回の補欠市議選は結構な人数出たが、最近は少ない人数での選挙で、減らしたほうがいいのではという声をよく聞いている。今は市の人口45,000人で今の議員定数で果たして適正なのか。大都会と比較してもキリがないので、他市と比較してみた結果を聞いてどうなのかという話をしていただけるとわかりやすい。	当然住民の代表機関であるので、人口と向き合った調整必要という認識。何人が果たして適切なのか？なぜ若い人が出ないのか？など様々な声を聞いたほうがいいのではという視点もある。宮古市議会の報酬は30年据え置き。平成の大合併時には、議員報酬を下げて、ずっとそのままである。報酬も引き上げるタイミングではという議論がある。報酬についてもしっかり根拠を見せられるようにする。議員定数等調査特別委員会では定数は3～4減。報酬については、5万円引き上げたほうがいいのではという話が主流。
	議員さんが自分で報酬あげるのは難しいと思うので、定数と報酬セットで話していったほうがいい。	

会場	市民からの質疑・意見等	議員からの回答
うみマチ ひろば	定数削減は反対。定数に関する会にもイーストピアで参加し、ジェンダーや年齢のバランスが悪すぎるので減らすのは良くないと感じている。宮古市の民主主義がどう機能するかが気になる。減らしてしっかり声が届くのかというところが懸念点である。	
	来月からの保険証やマイナ保険証について聞きたい。マイナンバーについて、利用に際して意図しない利用がされないか不安がある。説明も不十分だと思いついていない。普及率は81%。19%は持っていない。この人たちについてどう対応していくのか？持っていない人には資格確認証が発行されると聞いているがいつまで？取得は任意だと聞いていたし、そう捉えていた。議員の皆さんの認識はどうか？	2025 年の 12 月から健康保険証が使えなくなる。資格確認書は順次公布という発表になっている。持たないという選択肢はありだと思っている。それは個々の考え方であって良い。一方でデジタル化に対する考え方の中では、子供たちの予防接種など今まで母子手帳に記録されていたものがマイナンバーに記録されることで、子供たち自身でも確認できるようになるというのは利点であると感じている。個々の思いに関してはそれぞれで良いと思っている。
	機会があれば議会と話せる場があるといいのかなと思う。場や機会があれば情報を出してほしい。	
川井生涯学習センター	以前、鳥獣被害対策について議会と市民との意見交換会（※）が行われ、ジビエ加工活用の話もあったが、その後の進展はどうなっているか。 ※ 産業建設常任委員会が令和 4 年度に実施した「鳥獣対策」に係る意見交換会	本年度、野生鳥獣肉を有効活用することを目的にしたジビエ処理加工施設の基本設計業務委託予算が計上された（3,250 千円）。 本年度実施の基本設計を踏まえ、来年度施設整備に着工することになるのではないかと。整備後の運営体制が課題である。

会場	市民からの質疑・意見等	議員からの回答
鍬ヶ崎 公民館	昨年の議会報告会で、築地2丁目のバス停付近の時計台がある小公園の木の伐採等を要望した。その後、処理対応してもらい、御礼を申し上げたい。うみどり公園前の防潮堤にタイルアートができた。たくさんの人に見て欲しい。	
重茂 里地区 コミュニティ 番屋	近年の水産業は厳しい状況にある。議員は漁業振興についてどう考えているか。	水揚げの減少により漁業者だけでなく、水産加工業者も原材料確保ができず厳しい状況との声が上げられている。天然魚の安定的確保は難しくなっており、陸上養殖の検討や回帰性の高いサクラマスの中間養殖、放流も検討していく必要があると考える。行政だけでなく、3つの漁協、閉伊川漁協と連携し、協力していくことが重要だと考える。
	宮古市がパツとしない。活気もなくなっており人口減少も進んでいる。若い人たちが宮古市に住み続けることを選択するのかどうかだ。議員はこれからのまちづくりをどう考えているのか聞きたい。	若い方々が宮古に住み、暮らしていくために求められている課題は、働く場の確保、創出だと考えるなど、議員一人ひとりが自身の考え、意見を述べる。
イーストピ アみやこ	議員定数等調査特別委員会の市民アンケート調査を公表しているか。羅針盤等で公表すべきではないのか。公表できない理由があるのか。	議会ホームページでは公表している。紙媒体での公表は現段階では考えていない。
	議会報告会の意見結果が議会ホームページでは第15回までは掲載されているが、それ以降は公表されていない。昨年の議会報告会でも公表すべきと意見を述べたが、未だに公表されていない。理由は何か。	公開手続きが漏れていたもの。 →現在はホームページ更新済み

会場	市民からの質疑・意見等	議員からの回答
イーストピアみやこ	議員報酬について議論がされているが、議員の活動日数等はどの程度か。	宮古市議会では年４回、３月、６月、９月、１２月に定例会議が行われる。３月は新年度予算の審議、９月は前年度決算の審議が行われることから、約１ヶ月の会期・開催日程となるが、６月、９月は約２週間程度の開催となっている。その他に２ヶ月に１度のペースで臨時会議（本会議）が開催されている。定例会議がなくても、各常任委員会では調査・研究課題等で週１回～２回ペースで関係機関等との意見交換、協議等も行っている。市のイベントについても出席依頼がある。 市民から議員の活動が見えないなど、議会・議員のあり方にご指摘、ご批判もあるが、それらをしっかり受け止め、市民の付託、期待に応えるよう活動していく。
	議員の政治倫理問題を市民は厳しい目で見ている。議員辞職勧告決議が行われたが、この後、当該議員はどうなるのか。また教育長、教育委員会は、もっと正面から問題に向き合うべきだったのではないかと思うが、どのような対応をしてきたのか。	９月３０日の９月定例会議最終日の本会議で、「猛省を求める決議」と「議員辞職決議」の二つの決議案が出されたが、賛成多数で議員辞職決議が可決された。議員辞職決議は、議会としての意思を示すもので、辞職に対する法的効力、拘束力はない。当該議員は記者会見で議員活動を続けていくと話したと報道されている。今回の政治倫理事案は、学校や教育委員会の対応ではなく、議員のあり方が問われた問題であったと認識している。
	当該議員はどの委員会に所属しているのか。教育を考える場でもある教育民生常任委員会に所属しているのであれば、釈然としない。	